

2021年3月24日(水)昨日は笠間稲荷門前の旅館に宿泊し、旅館からタクシーで出発点の「片庭」まで行く。従来は笠間駅から路線バス乗車であるが、バス路線は既に廃止となり、公共交通手段は途絶えた。今日のコースも国指定重要文化財があるので楽しみだ、天気も上々。



「関東ふれあいの道を歩く(茨城)⑤自然林を歩くみち」案内板 (首都圏自然歩道協議会)



「⑤自然林を歩くみち」コース図



前日は笠間稲荷門前の海老惣に宿泊。明けて3月24日はタクシーを呼んで「片庭」に向かう



片庭で降りる、路線バスは廃止により、バス停も待合所もない



ただ道標を頼りに歩くしかない、笏間寺(りょうごんじ)の方向に行く



県道を外れてのどかな里道を山に向かって歩く



「楞嚴寺の山門」国指定重要文化財 室町時代後期の切妻造りの四脚門
とにかく田圃の畦道の中に、ぽつんとある。火災から守られた大きな理由だ



楞嚴寺の境内に入ると、入口に笠間城主累代の墓がある。天正 18 年秀吉により小田原が陥落するまで 18 代続いた



「楞嚴寺」臨濟宗のお寺で、宋の延千岩が開基、室町時代笠間時朝が中興の祖、笠間氏累代の菩提寺とした。
木造り千手観音立像は国指定重文



寺の脇道から関東ふれあいの道は仏頂山(431m)に向けて登ってゆく



それ程きつい登りでもなく、植栽されていない自然林の中を行く



一風変わった案内板が尾根道にあった、太い赤線が県道、点線が登山道だろう



「仏頂山(431m)」それ程きつい山ではないから、汗をかかずに頂上に立つ。



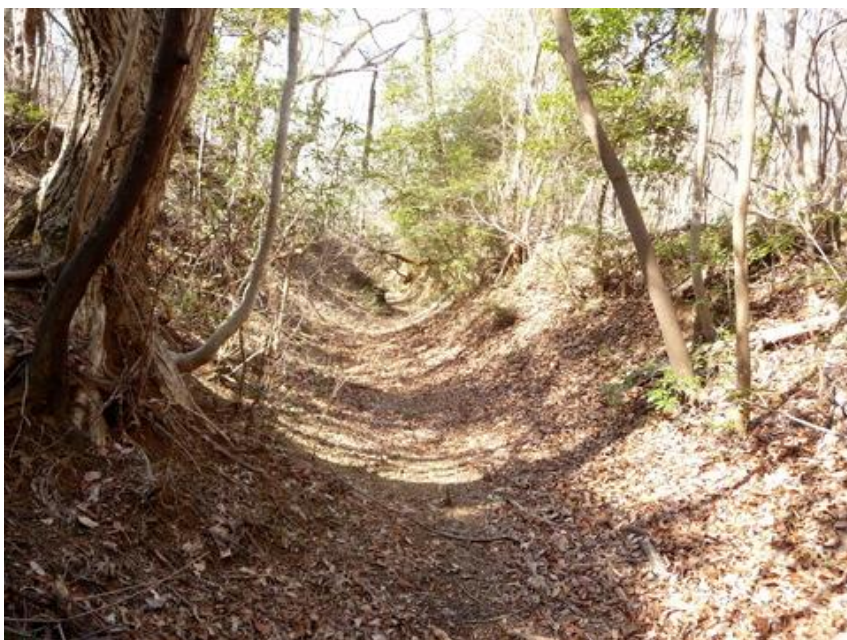
稜線は栃木県と茨城県の県境となっている、少し痩せている尾根だが、快適な稜線散歩が出来る



栃木県側は伐採が終わって、見晴らしが良くなっている(茂木町方面)



道は奈良駄峠から県境尾根と分かれて南へ、茨城県桜川市方向に下って行く



登山道ではどこでもある U 字型に窪んだ凹を行く、このトレイルは枯葉が溜まって快適



里に出ると、ふれあいの道の新しい案内板が、正確に道案内してくれる



畑は春の準備をしている、菜の花が満開。遠方の山は「加波山」



今回のゴール南飯田北那珂郵便局に到着 12:40。5時間(食事休憩含む) 15km

[参考タイム] 笠間稲荷神社前(7:30)→タクシー→片庭(7:45)→楞嚴寺(8:20-8:25)→仏頂山
(9:30-9:40)→奈良田峠(10:27)→池亀集落(11:25)→南飯田ゴール(郵便局前)12:40

この項完

「関東ふれあいの道を歩く(茨城)⑥観音様を歩くみち」に続く